



ユツユツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和3年7月8日
NO. 45



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

自信をもって 力の限り 戦ってこい

7月7日(水)、「全県総体激励会」を行い、郡総体で県大会への出場権を勝ち取った野球部、男子ソフトテニス部、陸上競技部の選手の健闘を祈り、全校で応援しました。

お互いに応援し合う一体感のある応援で、選手は大きな力をもらったことだと思います。

今週末10日~12日までの全県総体に出場する男子ソフトテニス、陸上競技、24日~27日までの全県少年野球大会に出場する野球部は、上位大会の権利を自らの手でつかみ取ったのですから、応援を力にして、「平常心で自信をもって、まずは自分のために」、できる全てを發揮してくれることを願うばかりです。



自分のためにやるからこそ、それがチームのためになるんであって、「チームのために」なんて言う奴は言い訳するからね。オレは監督としても、自分のためにやってる人が結果的にチームのためになると思う。

自分のためにやる人がね、一番自分に厳しいですよ。
(王 貞治)

調子のいいときは焦らない 悪いときは諦めない
(将棋 谷川浩司)

活発!! 太中生の授業

7月8日(木)、南教育事務所仙北出張所から小田長指導主事、大仙市教育委員会から村田指導主事をお招きして、1年A組の数学の授業研究会を行いました。太田南小学校からも1名の先生が参観に訪れてくださり、子どもたちの授業に臨む姿勢や中学生としての成長ぶりに目を細めておりました。



藤川、大畑両先生によるTTの指導で「複雑な図形で、数量を文字式を表すにはどうすればいいか」という課題で、マッチ棒を使って立方体を作り、次々につなげていくときのマッチ棒の本数を求めることに取り組みました。ややむずかしい問題でしたが、これまでに勉強したことや様々な発想・考え方を比較・検討し、友達と話し合い、全体で共有しながら根拠や理由を明らかにしながら説明する姿が見られ、課題にじっくり取り組んだ1時間でした。



緊張する姿はありましたが、「一人一人が活躍する場や認められる場、他と関わる場」があり、意欲的で活発に学び合い、「見方・考え方」を働かせて学びを深める姿が見られましたし、「分かった、できた」を実感していました。まさに、今年度から完全実施されている学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」に迫る授業でした。参観された指導主事の先生からも子どもたちに対するお褒めの言葉と今後の授業の在り方への御助言をいただきました。その指導を数学科のみならず全教科で生かしながら太中生の総合的学力の向上に努めてまいります。